

「新型コロナワクチンについて」

みさと健和病院 薬剤課

＜ワクチンでの重症化予防効果は比較的長く保たれるといわれています＞

みなさん、ワクチンの接種はお済みですか。まだ1回も接種していない方、副反応が辛く追加接種を迷っている方、感染したので必要ないとお考えの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

ワクチンの効果には、感染予防、発症予防、重症化予防の3つの効果があります。残念ながら時間の経過とともに感染予防と発症予防の効果は低下します。しかし、重症化予防効果は比較的高く保たれているといわれています。

ワクチンは感染された方も接種することができます。自然感染よりもワクチン接種の方が、抗体価が高くなり、多様な変異に対する抗体が産生されると報告されています。

今年秋以降、初回（1回目・2回目）接種完了者に対し、オミクロン株（BA.1型）と従来株に対応した2価ワクチンの接種が開始される予定ですが、オミクロン株対応ワクチンを待つことによって、接種の時期を後ろ倒しにするよりも、今あるワクチンを待たずに打つことの方が大きなメリットがあるといわれています。

メリット、デメリットを考慮し、接種をご検討いただければと思います。

